

もりうちてつや 森内哲也

小さい町だからこそ
出来る事がある!!

孫や子に誇れる二宅の町づくり



もりうち てつや 裏プロフィール

1970年 誕生
1975年頃 とても甘えん坊な一面あり。保育所で泣いていた。小学生だった兄が休み時間に様子を見に来てくれた事が、とても嬉しかった事を記憶している。

1980年頃 小学校にも慣れてくるとワルガキになっていた。近所の子もたちとは、大人を困らせるようなイタズラもしました。ゴメンなさい。

1985年頃 中学・高校時代、クラブの朝練は毎日行っていた。母親は必ず自分より先に起きお弁当を作ってくれていた。

1990年 大学時代、通学圏内であったが無理を言って下宿させてもらった。両親のありがたみを感じる。

1992年 大学卒業と同時に、腎臓病を患い入院。何をすることも、健康が第一だと痛感する。

1993年頃 思いのほか長期の入院となる。内科入院のため同室患者は年配の方ばかり。戦争体験を聞きまくる。教科書では教えない歴史がある事に気づき驚愕する。この頃に、年配の方々の話を聞く事に対する抵抗がまったくなくなり、むしろ色々と話して欲しいと思うようになる

1995年 社会人となる。社会の常識は大事だと思う。

2002年 結婚（まさかできるとは！ありがとう）

2003年 インターネットやパソコンをフル活用する仕事をし、生活様式が変わる可能性を感じる。

2006年 娘が誕生

2010年 三宅町に戻ってきたので空いた時間には町内ボランティアでもしようと決心。

2011年～ 会社都合で離職となり、独立。これを契機に子育てでも積極参加。子育ての大変さとやりがいを知る。



森内 哲也 プロフィール



1970年 誕生
1975年 三宅保育所 卒園
1977年 三宅幼稚園 卒園
1983年 三宅小学校 卒業
1986年 奈良学園中学校 卒業
1989年 奈良学園高校 卒業
1993年 大阪府立大学（社会福祉学部）卒業
1995年 株式会社 日本医療事務センター 入社
2003年 ミヤコ書店 勤務
2010年 有限会社スジェック 入社
2011年～ WEBデザイナーとして独立。
<http://design.best-for-u.com/>

【免許・資格】

普通自動車免許
診療報酬請求事務能力認定試験合格
Java検定3級
古物商許可
社会福祉士

【趣味】

音楽。大好きです。
ギター演奏したりします。



森内哲也後援会事務所

〒636-0213 奈良県磯城郡三宅町伴堂 137-9

TEL & FAX : 0745-44-4194

メール miyake@best-for-u.com

サイト <http://miyake.best-for-u.com/moriuchi>

小さいからこそ、自分たちで！

三宅町に戻ってきて2010年より町内ボランティア活動に顔を出すようになって、実感する事があります。それは、「三宅を盛り上げたい」、「住みよい町にしたい」、「何か貢献したい」という思いを持った人たちがたくさんいること！しかし、何かおかしいのでは？と思う事もあります。三宅町を盛り上げたいと思っているのに「○○でそれは出来ない」、「○○してもらっては困る」となることがあること。

これは、僕は、横のつながりや連携が足りない事だと考えています。各部署、組織が同じ目標、例えば「三宅を盛り上げる」を共有していたとしたら…「前例はないけど考えてみます」とは、ならないでしょうか。

そして、もう一つ危惧する事は、どこの町内ボランティア活動へ行っても顔ぶれがあまり変わらないことです。みなさんは、これらは何を意味していると考えますか？

「何か問題がある」→「対応しなければならぬ」→「声をかける」→「有志が集まる」→「また同じ人」これは、有志にしか問題が伝わらず、情報が共有されていない結果ではないかと思っています。

目の前に発生した問題だけに対応するのではなく、全体の中の問題として位置づけ、全体とのつながりを考え解決策を練り、全体を良くする方向で対処する、という事で、より多くの人を巻き込んだ、つながりや連携が生れてくるのではないのでしょうか。

だからまずは、

今まで以上の「情報の公開・共有化」をしたいと考えます

- ・なにをどうしようとしているのか（行政の情報）
- ・それに対して、町民の皆さんはどう考えるのか（町民の情報）
- ・聞き取れた町民の皆様の意見をどう反映させたか（議員・議会の情報）
- ・どういう過程を経て実現されようとしているのか、あるいは、なぜ意見が聞き入れられないのか（意見への対応の情報）
- ・聞き入れられた意見はどう具体化されるのか（その後の情報）

そして作るべきは、まかせて文句を言うのではなく、

「参加し自分たちの事は自分たちで決める町・三宅」

だと思っています。

発想の転換

世代交代



三宅を支えるひとりとなる。



「これをやればうまくいく」という特効薬はない。皆さんのアイデアや考えを聞かせて下さい。 miyake@best-for-u.com



三宅町の民話絵本

三宅町の民話を聞き取り、書いて下さる先生
+
絵の描ける人
+
行政の三宅の民話作成への取組み
+
大字の人々の時代考証など



すべての絵本の作成に参加させていただきました。

それぞれが出し合った力の結晶です
出来た絵本たちです
三宅町の人の力を合わせて

知っていますか？！

「太子道」以外の絵本は、各ページに、「みやっぴい」が隠れています。知っている子どもたちが楽しんでくれたように、絵本作成時、誤字脱字を探しながら、大人も楽しみました。どこかで答えの発表をしますね！！